POWER ENTERPRISE Co.,Ltd.

i-Shift

intelligent shift navigator

取扱説明書

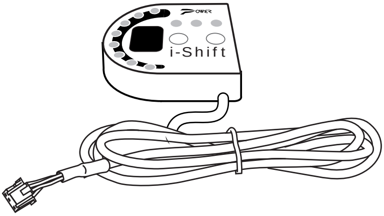
はじめに

この度は､｢i-Shift｣をお買い上げいただきまして､誠にありがとうございます。
この取扱説明書には､i-Shift本体の機能､配線方法､操作方法､および使用上の注意について記載してあります。
i-Shiftの機能を十分にご理解いただき､安全かつ効果的にご利用いただくために､ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みになり正しい使用法で使用してください。
取付け後も本取扱説明書および車種別配線図を大切に保管してください。
なお､i-Shiftは競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に従って使用してください。
また､本製品は精密機械ですのでお取扱いには十分ご注意ください。
商品の外観､仕様､価格等は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

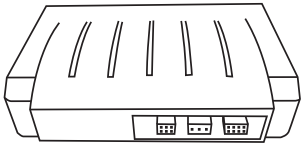
目次

パーツリスト

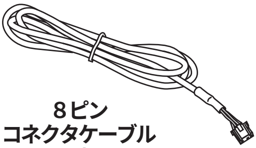
お取付け前に、不足部品がないかご確認下さい。



操作ユニット(1台)



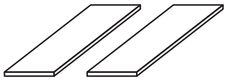
本体ユニット(1台)



**８ピン
コネクタケーブル
(1束)**



**３ピン
コネクタケーブル
(1束)**



両面テープ(2枚)



**取扱説明書兼保証書
(本書1冊)**

安全にご使用いただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人の財産や身体への損害を未然に防ぎ、本製品を安全かつ効果的にご使用いただくために守っていただきたい事項をマークと共に記載しています。
必ずこの取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分にご理解いただいた上でご使用ください。
本書中で使用されているマークと、その意味は下記のようになっています。

危険　財産や身体に重大な被害が発生する恐れがあるもの。

注意　車両や製品の破損および故障等を引き起こす恐れがあるもの。

重要　本製品を使用するにあたって必ず知っておいていただきたいこと。

危険

・本体、ハーネスを取付ける際にハンドルやシフトレバー、ペダル、その他運転の妨げになる所への取付けはおやめください。事故の原因となり大変危険です。
・適合車種以外の車両に取付けないでください。走行に支障が生じるような不具合が生じたり、車両を破損させる可能性があり、危険です。
・運転者が運転中に本製品の操作を行うときは、脇見運転とならないように十分に注意してください。事故の原因となり大変危険です。
・設定値を変更したりする時には、車を安全な場所に停止させて行なってください。走行中に設定変更を行なうと、車の走行特性に急激な変化が生じたときに事故等を引起こす可能性があり危険です。
・本製品の操作は、機能を十分に理解している方のみが行なってください。それ以外の方が操作しますと、車の走行特性に急激な変化が生じ事故等を引起こす可能性があり危険です。特にお子様などが操作しないように十分ご注意ください。

注意

・本製品の分解や改造は絶対にしないでください。本体の故障や破損の原因となります。お客様が分解や改造を行った場合、保証期間内であっても無償修理を行えなくなります。

・製品保証書(本取扱説明書裏表紙)は販売店および指定事項をご記入の上、大切に保管してください。また、修理の際には保証書を必ず添付してください。記入もれや販売店の記入がない時は有償となる場合がございます。

・製品に強い衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。取付け時等の落下にご注意ください。

・本体を湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、熱のこもる場所、ヒーターの吹き出し口の近く等に設置しないでください。本体の変色、変形、製品の誤作動、故障や破損の原因となります。

・本製品に故障または異常があった場合は、ただちに使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。

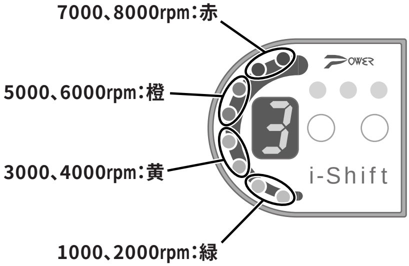
・本製品を使用しての事故や車両故障、破損、違法行為等につきましては、弊社では一切の責任を負いかねます。

・本製品を取付けた車両を他の人に貸出し、または譲渡する場合は、必ず本製品が取付けられていることを知らせ、この取扱説明書と保証書も必ず渡してください。

機能と特徴

タコメータ機能

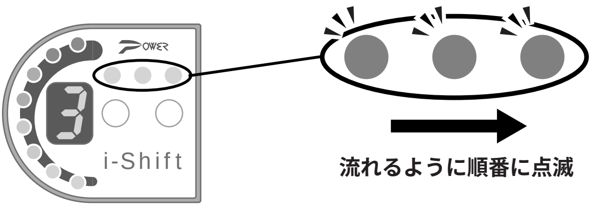
エンジン回転数を、8000rpmまで1000rpm刻みでカラー表示します。



回転数を正確に表示するためには初期設定が必要です。
設定方法はＰ13をご覧ください。

シフトランプ機能

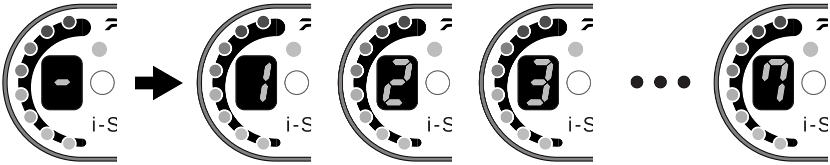
設定したエンジン回転数以上になると、緑ＬＥＤが流れるように点滅します。



点滅を開始する回転数は、2000～8000rpmの1000rpm刻みで設定することが可能です。
設定方法はＰ12をご覧ください。

シフトインジケータ機能

ギヤポジションを最大７速まで表示します。
マニュアルモードのないＣＶＴ車でも、車速と回転数に応じた１～７速の相当ギヤポジションを表示します。

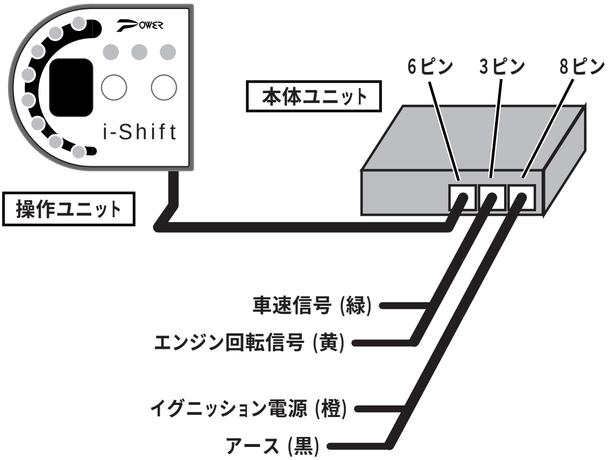


停車中　１速　２速　３速　７速

機能を使用するためには初期学習が必要です。
学習方法はＰ14～Ｐ16をご覧ください。

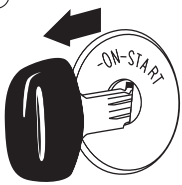
取付け概略図と取付け手順

取付け概略図



作業手順

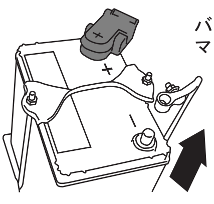
①



イグニッションOFF
キーを抜く

① 車両を平らな場所に停め、サイドブレーキをしっかりかけてイグニッションキーを抜いてください。

②



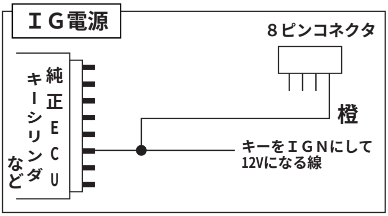
バッテリーの
マイナス端子を外す

② バッテリーから、マイナス端子ケーブルを取外してください。

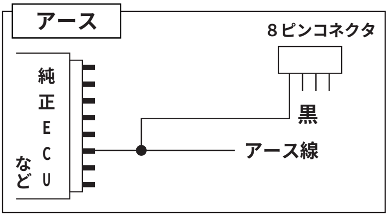
③ 以下に従って、配線作業を行なってください。

注意

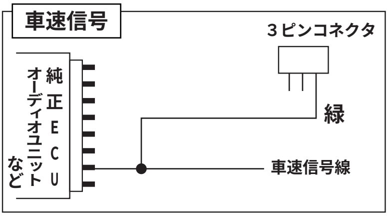
> 配線の結線はハンダ付けで行ってください。
> エレクトロタップは接触不良の恐れがありますので使用しないでください。



キーシリンダのハーネスやＥＣＵなど、イグニッションキーをＯＮにしたときに１２Ｖになる線に接続してください。

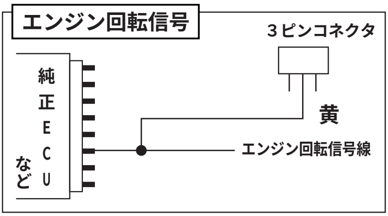


純正ＥＣＵなどのアース線(常に０Ｖ)に接続してください。



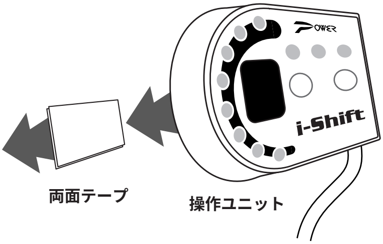
ナビゲーションやＥＣＵ、ＣＶＴコントロールコンピュータなど、車速パルスを発生する線に接続してください。

※ 車種別配線図に、適合車種の車速信号線を記載しています。



ＥＣＵなどのエンジン回転パルスを発生する線に接続してください。

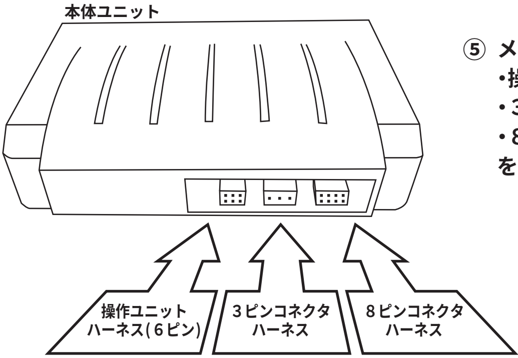
※ 車種別配線図に、適合車種のエンジン回転信号線を記載しています。



④ 操作ユニットに両面テープを貼付け、ダッシュボードなどに固定してください。

重要

太陽光が直接あたる場所などに操作ユニットを設置すると、昼間などではＬＥＤなどの表示が見難くなります。両面テープで固定する前に仮設置し、視認性を確認してから固定してください。

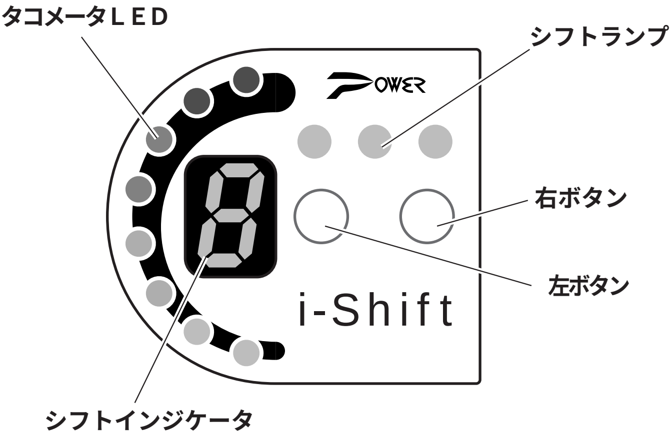


⑤ メインユニットに、
・操作ユニットハーネス(６ピン)
・３ピンコネクタハーネス
・８ピンコネクタハーネス
を接続してください。

以上で取付け作業は完了ですが、ご使用前に必ず初期設定(Ｐ13～)と動作確認(Ｐ17～)を行なってください。

操作方法

操作ユニット各部名称



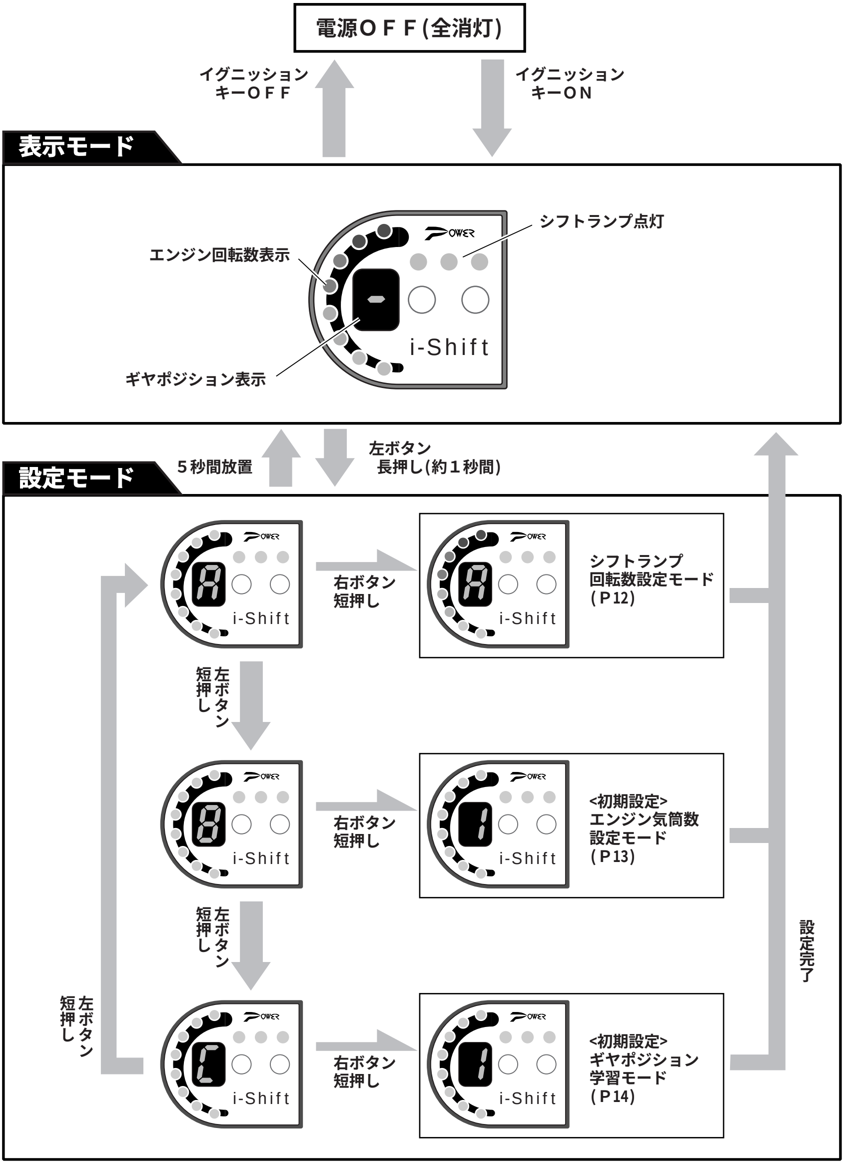
操作時の注意事項



運転者が運転中に本製品の操作を行うときは、脇見運転とならないように十分に注意してください。事故の原因となり大変危険です。

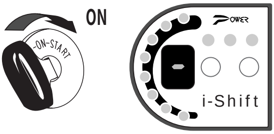
本製品を安全かつ確実にご使用いただくために、機能とご使用方法を十分に理解した方が操作してください。

操作一覧



電源ＯＦＦ(全消灯)
イグニッション
キーＯＦＦ
イグニッション
キーＯＮ
表示モード
POWER
i-Shift
シフトランプ点灯
エンジン回転数表示
ギヤポジション表示
５秒間放置
左ボタン
長押し(約１秒間)
設定モード
右ボタン
短押し
シフトランプ
回転数設定モード
(Ｐ12)
左ボタン
短押し
<初期設定>
エンジン気筒数
設定モード
(Ｐ13)
<初期設定>
ギヤポジション
学習モード
(Ｐ14)
設定完了

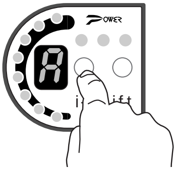
シフトランプの設定



電源ON

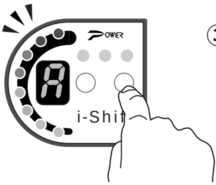
① イグニッションキーをONにし(エンジンは始動させません)、シフトインジケータに「-」が表示されることを確認してください。

左ボタンを押し続けて
「A」を表示させる



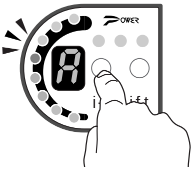
② 左ボタンを押し続けてください(約1秒間)。表示部に「 A 」が表示されたら指を離してください。

右ボタンを短く押す



③ 右ボタンを押してください。タコメータLEDに、現在設定されているシフトランプ回転数が表示されます。(工場出荷時は、8000rpmに設定されています。)

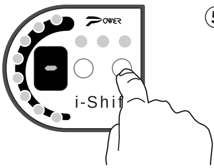
設定する回転数の
ＬＥＤが点灯するまで
左ボタンを繰返し押す



④ 設定したい回転数になるまで、左ボタンを繰返し押してください。

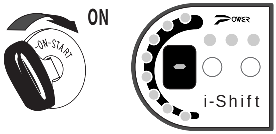
※2000〜8000rpmの範囲で設定できます。

右ボタンを押して
設定完了



⑤ 最後に右ボタンを押して設定完了です。

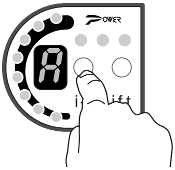
初期設定１．<エンジン気筒数の設定>



電源ＯＮ

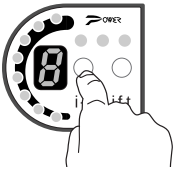
① イグニッションキーをONにし(エンジンは始動させません)、シフトインジケータに｢-｣が表示されることを確認してください。

左ボタンを押し続けて
「A」を表示させる



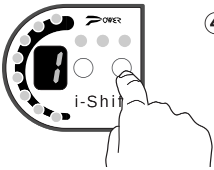
② 左ボタンを押し続けてください(約１秒間)。表示部に｢ A ｣が表示されたら指を離してください。

左ボタンを短く押して
「8」を表示させる



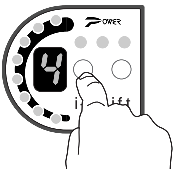
③ 左ボタンを１回押して、｢8｣を表示させてください。

右ボタンを短く押して
「１」を表示させる

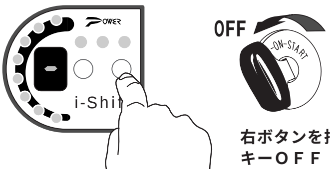


④ 右ボタンを押してください。表示部に「１｣が表示されます。

エンジンの気筒数
に合うまで、
左ボタンを繰返し押す



⑤ 左ボタンを短く押す度に表示部が｢１→２→３→４→６→８→１→・・・｣と変化しますので、車両エンジンの気筒数に合わせてください。



右ボタンを押して
キーＯＦＦ

⑥ 右ボタンを押して、キーＯＦＦにすると設定完了です。

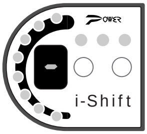
重要

次回のi-Shift起動時から設定が反映されます。

初期設定２．<ギヤポジションの学習>



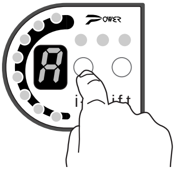
エンジン始動



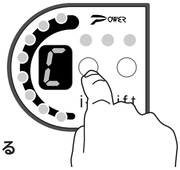
電源ＯＮ

① エンジンを始動してください。

左ボタンを押し続けて
「A」を表示させる



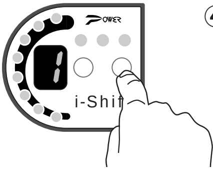
② 左ボタンを押し続けてください(約１秒間)。表示部に「 A 」が表示されたら指を離してください。



左ボタンを２回、短く
押して「C」を表示させる

③ 左ボタンを２回押して、「C」を表示させてください。

右ボタンを短く押して
「１」を表示させる



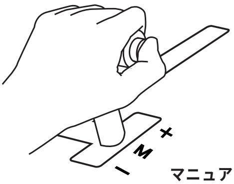
④ 右ボタンを押してください。表示部に「１」が表示されます。

ここから先の設定方法は車両により異なります。
・ＣＶＴでマニュアルモードのない車種はＰ16へ進んでください。
・上記以外の車種はＰ15へ進んでください。

初期設定２．<ギヤポジションの学習>　（続き）

ＡＴ車/ＭＴ車/ＣＶＴ(マニュアルモード有)車

※　Ｐ14→Ｐ15の順で学習をさせてください。



マニュアルモード１速にする
(ない車種はＤレンジ)

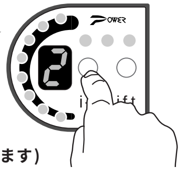
⑤ **ＡＴ車**　Ｄレンジにし､マニュアルモードがある車種はマニュアルモードの１速にしてください。

ＣＶＴ車　Ｄレンジにし､マニュアルモードの１速にしてください。(ない車はＰ16に従ってください。)

ＭＴ車　１速ギヤに入れてください。



１速



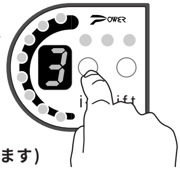
１速で走行しながら
左ボタンを短く押す
(→表示が「２」になります)

⑥ 車を１速で走行させている状態で、左ボタンを押してください。
表示が｢２｣になります。

重要　エンジンブレーキ中に左ボタンを押すと､正確に学習できません。必ず､速度維持または緩やかな加速中に左ボタンを押してください。



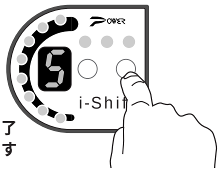
２速



２速で走行しながら
左ボタンを短く押す
(→表示が「３」になります)

⑦ 加速しつつギヤを２速にし(ＡＴのＤレンジの場合は１つ上がったのを確認して)､左ボタンを押してください。
表示が｢３｣になります。

⑧ 各ギヤで､同様に左ボタン押下を繰返してください。



トップギヤの設定が完了
したら、右ボタンを押す

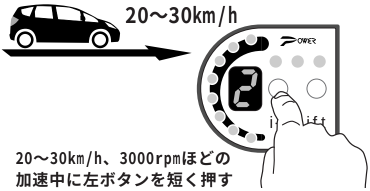
⑨ トップギヤでの設定が完了したら､最後に右ボタンを押して設定完了です。

※　上図の表示「５」はトップギヤが４速の場合の例です。
　　車両のトップギヤによって表示は異なります。

初期設定２．<ギヤポジションの学習>　（続き）

ＣＶＴ(マニュアルモードなし)車

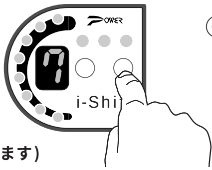
※　Ｐ14→Ｐ16の順で学習をさせてください。



20～30km/h、3000rpmほどの
加速中に左ボタンを短く押す
(→表示が「２」になります)

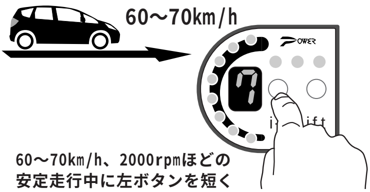
⑤ 車を20～30km/h、3000rpm程度で加速させている状態で、左ボタンを押してください。
表示が「２」になります。

重要
エンジンブレーキ中に左ボタンを押すと、正確に学習できません。
必ず、速度維持または緩やかな加速中に左ボタンを押してください。



右ボタンを短く押す
(→表示が「７」になります)

⑥ 右ボタンを押してください。
表示が「７」になります。



60～70km/h、2000rpmほどの
安定走行中に左ボタンを短く
押して設定完了

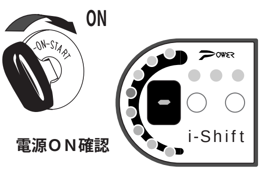
⑦ 60km/h～70km/h、2000rpm程度で安定して走行させている状態で、左ボタンを押して設定完了です。

重要
エンジンブレーキ中に左ボタンを押すと、正確に学習できません。
必ず、速度維持または緩やかな加速中に左ボタンを押してください。

動作確認とトラブルシューティング

**取付けと初期設定が完了したら、この項に従って動作確認を行ってください。
また機能が正常に動作しない、不具合が発生する、などの症状が発生した場合にも、
故障と判断される前にこの項に従ってトラブルシューティングを行ってください。**

①キーをイグニッションＯＮにし、シフトインジケータに「-」と表示がされることを確認してください。



NO

何も表示されない場合

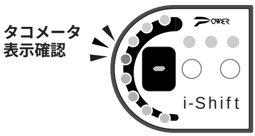
- 電源線(橙)またはアース線(黒)の接続を見直してください。接続位置に誤りがあるか、接続不良の可能性があります。
- 操作ユニットの６ピンコネクタが、本体ユニットにしっかりと接続されていることを確認してください。

「-」以外の表示がされる場合

- 車速信号線/エンジン回転信号線の接続を見直してください。接続位置に誤りがある可能性があります。

YES

②エンジンを始動させ、空吹かしなどでエンジン回転数の表示が正常であることを確認してください。



NO

実際の回転数と大きく異なる場合

- 気筒数設定が合っているかを確認し(Ｐ13)、キーＯＦＦして５分ほど置いてから再度ご確認ください。
  車両によってはキーＯＦＦ後しばらくイグニッション電源が保持されていることがあります。
- エンジン回転信号線の接続を見直してください。接続位置に誤りがある可能性があります。

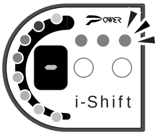
表示がばらつく場合

- エンジン回転信号線の接続を見直してください。接続位置に誤りがあるか、接続不良の可能性があります。

YES

次ページの③に進んでください。

③空吹かしなどで、設定したエンジン回転数でシフトランプが点灯することを確認してください。



NO

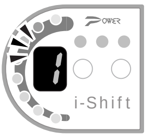
点灯しない場合

・希望の設定回転数になっているか、もう一度見直してください。(P12)

・ＡＴ車/ＣＶＴ車では、純正のシフトアップ制御によって設定回転数に到達しないことがあります。
設定回転数を1000rpm下げるなどの調整をしてください。

YES

④走行し、ギヤポジションの表示が正常にされることを確認してください。



NO

表示が「-」のまま変わらない場合

・車速信号線の接続を見直してください。
接続位置に誤りがあるか、接続不良の可能性があります。

・ギヤポジションの初期学習をやり直してください。(P14)

表示が実際と異なる場合

・ギヤポジションの初期学習を、もう少し強く加速するようにしてやり直してください。(P14)

・ＡＴ車やＣＶＴ車では、エンジンブレーキ中に実際のギヤポジションと異なる表示をすることがあり、それは異常ではございません。
※ 車両のトルクコンバータ(クラッチ機構)によるものです。

YES

**i-Shiftは正常に動作しています。
安心してご使用ください。**